

第七十三回 帝國議會 临时租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第十五回

付託議案 临时租稅增徵法中改正法律案(政府提出)	所得稅法中改正法律案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
登録稅法中改正法律案(政府提出)	關稅法中改正法律案(政府提出)	酒類稅法中改正法律案(政府提出)	酒類稅法中改正法律案(政府提出)
待遇ニ關スル法律案(政府提出)	支那事變ニ關スル件(政府提出)	支那事變ニ關スル件(政府提出)	支那事變ニ關スル件(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)
第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第十五回 昭和十三年三月七日	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ
昭和十三年三月七日(月曜日)午前十一時四 分開議	小串 清一君 板谷 順助君	大藏政務次官 太田 正孝君 大藏參與官 中村三之丞君	太田 順助君 坂田 道男君
出席委員左ノ如シ 委員長 高橋熊次郎君 理事岡本實太郎君 理事岩瀬 理事西村金三郎君 理事東條 理事玉野 知義君 理事河野 前田房之助君 中村 梅吉君 渡邊玉三郎君 藤 正憲君 矢野庄太郎君 津倉 龍作君 委員ニ付託セラレタリ	森田 福市君 曾木 重貴君 三木 武夫君 馬場 元治君	坂田 道男君 水谷長三郎君 忠三君 大藏書記官 松隈 秀雄君 大藏書記官 田中 豊君	大藏省主稅局長 大矢半次郎君 大藏省理財局長 關原 忠三君 大藏書記官 松隈 秀雄君 大藏書記官 田中 豊君
トシテ板谷順助君ヲ議長ニ於テ選定セリ 同月五日本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本 日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出) 得稅法ノ施行ニ關スル件(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出) 臨時租稅措置法案(政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出) 得稅法ノ施行ニ關斯ル件(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出) 臨時租稅措置法案(政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關斯ル件)(政府提出) 得稅法ノ施行ニ關斯ル件(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出) 臨時租稅措置法案(政府提出)

本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ

關スル法律案(政府提出)

○高橋委員長 開會致シマス、一昨日ノ本

會議ニ於テ本委員會ニ併託セラレマンシタ本

邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關ス

ル法律案、政府提出デアリマス、本案ヲ議

題トシテ政府ノ説明ヲ求メマス

○太田政府委員 本委員會ニ併託セラレ御

審議ヲ願フコトニナリマシタ本邦内ニ於テ

募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案ニ

付テ説明ヲ致シタイト存ジマス

我國ノ國債ニ對シマシテハ、租稅ノ賦課

竝ニ納稅ノ擔保ニ付キマシテ、其性質上他

ノ有價證券ト比ベマシテ特例ガ設ケラレテ

居ルノデアリマス、即チ租稅ノ賦課ニ付キ

マシテ、ソレドヽ稅率ニ區別ヲ設ケラレテ

居リ、又納稅ノ擔保ニ付キマシテハ酒造稅、

砂糖消費稅等ニ於キマシテ、納稅ノ擔保ト

シテ國債ヲ提供シ得ルコトトナツテ居ルノ

デアリマスガ、外國ノ國債ニ付キマシテハ

スル取扱ヲ致シテ居ナイノデアリマス、然

條件ノ下ニ、我國ノ國債ト同様ノ待遇ヲ與
ヘ、其發行ニ便宜アラシメタイト存ズル次

第デアリマス、差當リマシテハ滿洲國ノ國
債ニ其適用アリト認メラレルノデアリマス、
何卒御審議ノ上速ニ御決議アランコトヲ希
テ、主稅局長ナリ、松隈政府委員ナリカラ

ル臨時租稅增徵法中改正法律案外四件竝ニ
支那事變特別稅法案外二件ヲ議題ニ供シテ、
其審議ヲ進ヌマス——太田政府委員ヨリ砂

糖ニ關スル御説明ガアリマス

○太田政府委員 此前ノ委員會ノ時ニ委員
長カラ、砂糖消費稅ニ付キマシテ其內容ヲ

御説明致スヤウニト云フ御言葉デアリマシ
タ、稅率ノ變ッタ點ダケニ付キマシテハ、東

條君ノ御質問ニ對シマシテ松隈政府委員カラ

御答辯申上ゲタノデスガ、何分ニモ砂糖

ソレカラ第三種ノ所得ニ付キマシテ第五條
ノ第二項ノ三ツノ問題ハ、本會議ニ於テ森

田委員ト大藏大臣トノ間ニ質疑應答ガアリ
マシタガ、是モ假設ノ例ニ依リマシテ、是

レはレノ資本ニ依シテ是レノ利益ガアッ
タ場合ニ、ドウ云フ稅ガ課シテ來ル、ソコデ

十五號トシテ資料ヲ配付申上ゲテゴザイマ
スガ、ソレノ法人ノ資本金百万圓デ七十萬

圓儲カツタ場合ノ例ヲ御覽願ヒタイノデゴ
ザイマス、ソレニ付テ申上ゲテ參ッタ方ガ分

リ宜イカト思ヒマス、拂込資本金百万圓ノ會

社ノ利益ガ一年ニ七十萬圓、即チ資本金

ニ對シ年七割ノ利益ヲ上ゲタ場合ノ所得稅

ヲ改正稅率ニ依シテ計算致シマスルト、普通

所得、是ハ稅率ガ百分ノ十二・五デアリマス

ルカラシテ、八万七千五百圓、超過所得稅、

常ニ便宜カト思フノデアリマス、臨時增徵

法ニ於キマシテモ種別ヲ改メタノデゴザイ

マスガ、サウ云フ關係ナドモ實物ニ付テ御
說明申上ゲルノガ結構カト思ヒマスニ御
申上ゲルヤウニ致シマシテ、色々御

質問願ヒ、又御說明モ致シタイト思ヒマス
カラ、委員長ノ御計ヒデ、速記ヲ止メテ戴

ケバ結構カト思ヒマス、尙ホ各條ニ付テノ
御審議モゴザイマセウガ、實ハ法人ノ色々
ナ稅ノ課シテ來ル時ノ最高ヲ決メタ支那事

變特別稅法ノ第二條ノ第三項、ソレカラ同
族會社ノ加算稅ニ關スル第三條ノ第二項、

ソレカラ第三種ノ所得ニ付キマシテ第五條
ノ第三項ト第三條ノ第二項ニ法人ノ場合ガ

コザイマス、之ニ付キマシテ實例ニ付テ制
限ノ仕方ヲ說明申上ゲタイト思ヒマス、先

般森田委員ノ御要求ニ依リマシテ、稅第四

十五號トシテ資料ヲ配付申上ゲテゴザイマ
スガ、ソレノ法人ノ資本金一百萬圓デ七十萬

圓儲カツタ場合ノ例ヲ御覽願ヒタイノデゴ
ザイマス、ソレニ付テ申上ゲテ參ッタ方ガ分

リ宜イカト思ヒマス、拂込資本金一百萬圓ノ會

社ノ利益ガ一年ニ七十萬圓、即チ資本金

ニ對シ年七割ノ利益ヲ上ゲタ場合ノ所得稅

ヲ改正稅率ニ依シテ計算致シマスルト、普通

所得、是ハ稅率ガ百分ノ十二・五デアリマス

ルカラシテ、八万七千五百圓、超過所得稅、

常ニ便宜カト思フノデアリマス、臨時增徵

法ニ於キマシテモ種別ヲ改メタノデゴザイ

マスガ、ソコラ誤解ノナイ
ヤウニ御願致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 拜承致シマシタ、ソレデハ
速記ヲ一時中止致シマス

(速記中止)

○高橋委員長 ソレデハ速記ヲ始メテ下サ
イ、渡邊玉三郎君ノ質疑ニ入ル前ニ、所得

稅ノ制限ニ關スル件ニ付テノ説明ガアリマ
スカラソレヲ伺ヒマス

○松隈政府委員 所得稅ノ制限ニ付キマシ
テハ、今回ノ支那事變特別稅法案ノ第一條

ノ第三項ト第三條ノ第二項ニ法人ノ場合ガ

コザイマス、之ニ付キマシテ實例ニ付テ制
限ノ仕方ヲ說明申上ゲタイト思ヒマス、先

般森田委員ノ御要求ニ依リマシテ、稅第四

十五號トシテ資料ヲ配付申上ゲテゴザイマ
スガ、ソレノ法人ノ資本金一百萬圓デ七十萬

圓儲カツタ場合ノ例ヲ御覽願ヒタイノデゴ
ザイマス、ソレニ付テ申上ゲテ參ッタ方ガ分

リ宜イカト思ヒマス、拂込資本金一百萬圓ノ會

社ノ利益ガ一年ニ七十萬圓、即チ資本金

ニ對シ年七割ノ利益ヲ上ゲタ場合ノ所得稅

ヲ改正稅率ニ依シテ計算致シマスルト、普通

所得、是ハ稅率ガ百分ノ十二・五デアリマス

ルカラシテ、八万七千五百圓、超過所得稅、

常ニ便宜カト思フノデアリマス、臨時增徵

法ニ於キマシテモ種別ヲ改メタノデゴザイ

マスガ、ソコラ誤解ノナイ
ヤウニ御願致シタイト思ヒマス

ト万三千四百圓、合計致シマシテ十九万九百圓ト云フ數字ハ資料トシテ提出シテアリマス
表ノ摘要欄ノ所得稅ハ算出稅額十九万九百圓ト云フモノデアリマス、ソレノ内譯ヲ申上
ゲタノデアリマス、此十九万九百圓ト申シマスノハ、普通所得ニ對スル稅金ノ八万
七千五百圓ト、超過所得ニ對スル稅金ノ十萬三千四百圓ノ合計額デアル譯デアリマス、
ソレカラ臨時利得稅ニ付キマシテハ、其負擔ガ一番多クナル場合ヲ假想致シマシテ、
甲既往事業年度ノ平均利益ヲ年七分、乙既往事業年度ノ平均利益ヲ年一割トシテ、甲
種利得及び乙種利得ヲ計算致シマスルト、
甲種利得ガ此會社ニ付テハ六十三万圓ト出
テ來ルノデアリマス、ソレカラ乙種利得ハ
六十万圓ト出テ來ルノデアリマスガ、稅額
ノ計算ニ於キマシテ、甲種利得ニシテ乙種
利得ニ屬スル部分ハ之ヲ甲種利得ヨリ控除
セラル、旨ノ規定ガゴザイマスノデ、結局
課稅サレル所ノ甲種利得ハ六十三万圓カラ
六十万圓ヲ引キマシタ殘リノ三万圓ト云フ
コトニナルノデアリマス、サウシテ乙種利
得ハ六十万圓デアリマス、隨テ此會社ノ臨
時利得稅ハ甲種利得ニ對シマシテ、即チ三

掛ケマシタ五千百七十五圓ト、乙種利得ニ
フ税率ヲ掛ケマシタ十八万圓トノ合計金額
デアル所ノ十八万五千百七十五圓トナルノ
デアリマス、ソレハ其表ノ改正後負擔稅額
ノ一番終リカラ三行目ノ所ニ臨時利得稅十
八万五千百七十五圓ト云フ數字ガ掲ゲテア
ルノ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、今私
ガ申上ゲマシタ十八万五千百七十五圓ト云
フノハ、内譯ガ甲種利得トシテハ五千百七
十五圓、乙種利得トシテハ十八万圓ト云フ
其稅ヲ寄セタモノデアルト云フコトヲ申上
ゲタ次第デゴザイマス、ソコデ所得稅ノ
十九万九百圓、是ハ算出上出テ來タ其儘ノ
數字デゴザイマスノデ、ソレト臨時利得稅
ノ十八万五千百七十五圓トヲ合計致シマス
ルト三十七万六千七十五圓トナリマシテ、普
通所得ノ七十萬圓ト云フモノノ百分ノ五十
ニ當ル金額デアル所ノ三十五万圓ヲ超過ス
ルコト二万六千七十五圓トナルノデアリマ
ス、ソコデ此超過額二万六千七十五圓ヲ所
得稅額ニ於テ免除スルト云フコトガ第二條第
三項ノ規定デアリマス、仍テ所得稅ハ十九万
九百圓ト一應出テ來ルノデアリマスガ、ソレ
カラ二万六千七十五圓ヲ引イタ十六万四千
八百二十五圓ト云フモノガ實際徵收稅額ト

摘要ノ所ニ所得稅ハ十九万九百圓中制限超
過額二万六千七十五圓ヲ切捨テ、差引十六
万四千八百二十五圓トナルト云フコトヲ書
キマシテ、改正後負擔稅額ノ所ニ其金額ヲ
擧ゲテアル次第デゴザイマス、此法人ハ以上
ノ稅金ノ外ニ、所得稅附加稅、營業收益稅、
同附加稅、法人資本稅ヲ負擔シマシテ、其
稅額ハ大體所得稅附加稅ハ、是ハ増徵ヲ除
イタ本稅ノ四割五分ト云フ計算ニシテ五万
八千五十圓トナリ、ソレカラ營業收益稅ハ
稅率ガ百分ノ四デアリマシテ、利益ガ七十
万圓デアリマスカラ二万八千圓トナリマ
ス、尙ホ營業收益稅ノ附加稅ハ、增徵ヲ除
キタル本稅ノ十四割二分ト致シテ計算シマ
スルト、三万三千七百九十六圓トナリ、ソ
レカラ法人資本稅ハ稅率ガ千分ノ一・二ニ
リマシタ關係上一千二百圓ト云フコトニナ
リマス、合計十二万一千四十六圓トナリマ
ス、其所得稅附加稅以下法人資本稅マデハ
所得稅ガ前ニ申述ベマシタ制限ヲ受ケタ
リデゴザイマス、隨テ此法人ノ總負擔額ハ
利得稅ガ十八万五千七十五圓、其他ガ十二
後ノ計算デ十六万四千八百二十五圓、臨時
萬一千四十六圓、通計四十七万一千四十六

圓デアリマシテ、所得七十万圓ニ對スル負
表ノ稅引キ六割七分二厘ト書イテアリマス、
此所得七十万圓ハ一切ノ稅ヲ損金トシテ計
算シタ結果ノ七十万圓デアリマスカラ、若
シ此場合是ト同額ノ稅ガ損金ニ計算セラレ
テ居ルト致シマスルト、所謂稅込所得ニ對
シマスル負擔割合ナルモノハ四割二厘トナ
ル計算デアリマス、是ガ表ノ所ニ稅込ノ所
得ニ付テ見ルナラバ四割二厘ト云フ數字ガ
掲ゲテアル次第デアリマス、此會社ニ付キ
マシテハ、現行負擔稅額ト云フ所ヲ御覽下
サルト稅金ノ總計ガ四十万九千九百二十一
圓、其稅込所得ニ對スル割合ハ三割六分九
厘、稅引所得ニ對スル割合ハ五割八分五厘
ト云フコトニナツテ居リマスガ、ソレガ増徵
ノ結果、先程モ申シタ通り、所得稅ノ制限
ヲ受ケテ四十七万一千四十六圓トナル次第
デアリマシテ、附加稅マデ込メマシテ所得
ノ七割以内ニ納マル見込ヲ以チマシテ、同
族會社ニアラザル法人ニ付テハ普通ノ所得
ノ五割以上ニ所得稅ノ增徵ヲ行ハナイヤウ
ニ制限スルト云フ規定ヲ置イタ次第デゴザ
イマス、同族會社ノ場合ハ參考表ニ載セテ
ゴザイマセヌガ、假ニ今申上ゲマシタ百万

圓ノ資本金デ普通所得金額ガ七十万圓ゴザ
シマシテ、利益ノ七割即チ四十九万圓ヲ社
内ニ留保シタモノト致シマスレバ、留保金
中利益ノ三割ヲ超ユル部分即チ二十八万圓
ニ對シマシテハ別ニ稅額ヲ加算セラル、ノ
デアリマシテ、其加算稅額ヲ所得稅法及び
支那事變特別稅法ニ依ツテ計算シテ見マス
ト、十万六千八百三十七圓ト云フコトニナ
ルノデアリマス、之ヲ前ニ申述べマシタ所
得稅ノ十六万四千八百二十五圓、及ビ臨時
利得稅ノ十八万五千百七十五圓ト合算致シ
マスルト四十五万六千八百三十七圓トナリ
マシテ、普通所得七十万圓ノ百分ノ六十二
當ル所ノ四十二万圓ヲ超過スルコト三万六
千八百三十七圓トナルノデアリマス、ソコ
デ支那事變特別稅法第三條ノ第二項ニ依リ
マシテ、此超過額デアル所ノ三万六千八百三
十七圓ト算出サレタノデアリマスガ、三万
稅ハ先程モ申シタ通リ一應十万六千八百三
十七圓ヲ加算稅ニ於テ免除スル、即チ
ソレダケ切捨テル譯デアリマス、其結果加算
稅ハ十六万四千八百二十五圓、加算稅七万圓、
ハ七万圓トナル譯デアリマス、結局所得稅
臨時利得稅十八万五千百七十五圓、合計四

十二万圓トナルノデアリマス、此法人ハ右
ノ外ニ所得稅附加稅、營業收益稅、同附
稅、及ビ法人資本稅、合計十二万一千四十
六圓ヲ負擔スルコトハ前ニ申シタ通りデア
リマス、尙ホ加算稅ニ對スル所得稅附加稅
ト云フモノガ新シク加ハルノデアリマシテ、
是ガ二万五千六百四十一圓デアリマス、之
ヲ通算致シマスト其總負擔ハ五十六万六千
六百八十七圓トナツテ所得七十萬圓ニ對スル
負擔割合ハ八割トナルノデアリマス、此場
合ニ於キマシテモ、前ニ述べタト同ジヤウナ
關係デ稅込ノ所得ニ對スル割合ヲ見マスレ
バ、四割四分ニ當ツテ居リマス、斯ウ云フ譯デ
アリマス、即チ同族會社ニアラザル會社ニ付
テハ普通所得ノ五十デ制限スルト云フコト
ハ、附加稅マデ込メマシタ法人ノ總負擔ヲ
普通所得ノ七割以内ニ落著カセ、同族會社ニ
付キマシテハ、附加稅マデ込メマシタ法人ノ
總負擔額ヲ普通所得ノ八割以内ニ止メタイト
云フ意圖ニ出テ居ルヤウナ次第デゴザイマス
ソレカラ個人ノ第三種所得稅ノ制限ノ
コトヲ申上げマス、是モ假設例ニ依ツテ申
上ゲマスガ、例ヘバ所得金額三百万圓ノ
モノノ稅額ヲ計算シテ見マスルト百七十四
万四千二百四十三圓トナツテ所得ノ百分ノ
五十五デアル所ノ百六十五万圓ヲ超過スル

コト九万四千二百四十三圓トナルノデアリマス、ソコデ算出稅額ハ一應百七十四万四千二百四十三圓トアルノデアリマスガ、此中カラ超過額デアル所ノ九万四千二百四十三圓ヲ切捨テマシテ、結局實際徵收稅額ハ所得ノ百分ノ五十五即チ百六十五万圓ニ打止メラレルコトニナルノデアリマス、ソコデ此人ノ所得稅附加稅ヲ考ヘテ見マスルト、本稅一圓當リ四十五錢——是ハ東京市ノ例デアリマスガ——ト云フコトニ致シマスト、増徵前ノ本稅ニ對シテ一圓當リ四十五錢デアリマスカラ、所得稅附加稅ハ三十五万九千九百八十四圓トナリマシテ、之ヲ加算致シマシタ結果、所得稅及ビ同附加稅ノ合計額ハ二百万九千九百八十四圓トナリマシテ、所得ニ對スル負擔割合ハ六割六分ニ當ル次第デゴザイマス、即チ支那事變特別稅法ノ第五條第二項ニ依リマシテ第三種所得ノ百分ノ五十五ニ制限致シマスルノハ、本稅附加稅ヲ合セマシテ第三種所得ノ七割以内ニ止マルヤウニト云フ意圖カラ出テ居ル次第デアリマス、尙ホ第三種所得稅ニ付テ制限ヲ受ケマスル所得ト云フモノハ、所得百七十四万三千圓程度以上ノモノデアリマス、ソレカラ以下ノモノニ付テハ百分ノ五十五デ切ルト云フ制限ハ働くナイノデアリマス、

百七十四万三千四百二十五圓以上ノ人ニナルト此所得ノ百分ノ五十五デ切ルト云フ規定ガ効キ始マルト云フコトニナツテ居リマス、隨テソレ以上ノ人ニ付テハ總テ所得ノ百分ノ五十五ニ當ル第三種所得稅額ガ本稅ニナツシマウ譯デマリマス

ラ間違ナイト思ヒマス、ソコデ若シ個人ガ

第三種トシテ昭和四年、五年、六年ニ五千

圓位儲ケテ居ッタ、ソコデ昭和十三年ハ五万

圓儲ケタトシマスルナラバ、丁度乙種ノ利

得税ガ私ノ計算カラ言ヒマスト九千圓餘ニ

ナルノデアリマス、九千圓餘ニナリマスト、

此場合カラ言ヒマスト全部ノ税金ヲ合計シ

テ二万五千三百九十三圓ト云フモノニナル、

然ルニ個人ノ時ニ出ス税金ヲソレハ経費ニ

見込マナイト致シマスト、結局五万圓儲ケタ

ケレドモ、二万四千幾ラシカ收入ガナイ、

ソコデ又二万五千圓ヅ、税金ヲ出シテ行ク

ト税金ノ方ガ多クナル、斯ウ云フ場合ガ生

ズルダラウト思ヒマス、個人ガ所得ノ百分

ノ五十五以上ハ税金ヲ出サナイ特典ノ場合

ニ、ソレハ百六十何万以上ト云フ話デアリ

マスカラ、斯様ナ場合ヲ豫想致シマス時ニ、

私が持ツテ居リマスヤウナ考ニナリマスカ

ドウカ、ソレヲ御答辯願ヒタイ、此表ヲ課

長ニ出スコトヲ御許シ願ヒマス——只今表

ヲ預ケテ置キマシタカラ、的確ナル御答ハ

午後デ宜シウゴザイマス

○松隈政府委員 只今渡邊サンノ御述ニナッタ點ハ、表ヲ拜見致シタ上更ニ午後ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、御述ベニナッタ中ニハ、個人ニ付キマシテハ乙種利得税ニ付テ

ハ五千圓ヲ控除シテ其超過額ヲ利得トスル

關係上、法人ニ比シテ場合ニ依ツテハ負擔ガ

強クナル場合ガアルト云フ關係ガ一點アル

ノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ御話ノ

ルコトニ致シタイト思ヒマス

税金ヲ経費ニ見ルカ見ナイカト云フ點デゴ

ザイマスルガ、營業者ニ付キマシテハ所得

益税トカ臨時利得税トカ云フモノハ経費ニ

見ラレルト思ヒマス、尙ホ今突然表ヲ見タ

ダケデ詳シイ御答ハ致シ兼ネマスカラ、午

後ニ調べテ申上ゲタイト思ヒマス

○東條委員 今詳シイ説明ヲ拜聴シタノデ

アリマスガ、此處ニ資料トシテ頂戴シテ居

リマス例ノ法人ノ負擔調デアリマス、今ノ

御説明ヲ伺ツテ見マスト、此表ヲ見マシタダ

ケデハ一寸分リニクイ所ガアリマス、ソレ

ハ何故カト言ヒマスト、今ノ説明ニアリマ

シタ詰リ利得税ノ超過額ヲ切捨テルコトニ

付テノ御説明ノ中ノ甲種、乙種ガ幾ラニナッ

テ、ソレヲ合計シタモノガ幾ラニナルカト

ス

○高橋委員長 午前ノ會議ハ此程度デ止メ

○渡邊委員 私ノ今ノ問題ハ何レ午後ニ

○渡邊委員 今詳シイ説明ヲ拜聴シタノデ

アリマスガ、此處ニ資料トシテ頂戴シテ居

リマス例ノ法人ノ負擔調デアリマス、今ノ

御説明ヲ伺ツテ見マスト、此表ヲ見マシタダ

ケデハ一寸分リニクイ所ガアリマス、ソレ

ハ何故カト言ヒマスト、今ノ説明ニアリマ

シタ詰リ利得税ノ超過額ヲ切捨テルコトニ

付テノ御説明ノ中ノ甲種、乙種ガ幾ラニナッ

テ、ソレヲ合計シタモノガ幾ラニナルカト

ス

○高橋委員長 午前ノ會議ハ此程度デ止メ

○渡邊委員 私ノ今ノ問題ハ何レ午後ニ

○渡邊委員 今詳シイ説明ヲ拜聴シタノデ

アリマスガ、此處ニ資料トシテ頂戴シテ居

リマス例ノ法人ノ負擔調デアリマス、今ノ

御説明ヲ伺ツテ見マスト、此表ヲ見マシタダ

ケデハ一寸分リニクイ所ガアリマス、ソレ

ハ何故カト言ヒマスト、今ノ説明ニアリマ

シタ詰リ利得税ノ超過額ヲ切捨テルコトニ

付テノ御説明ノ中ノ甲種、乙種ガ幾ラニナッ

テ、ソレヲ合計シタモノガ幾ラニナルカト

ス

○高橋委員長 午前ノ會議ハ是デ休憩致シマ

自然遅レルコトヲ御承知置キヲ願ヒタイト

思ヒマス、午前中ノ會議ハ是デ休憩致シマ

ナ参考資料ヲ一ツ出シテ戴キタイ

○渡邊委員 午前ノ續キニ、五万圓ノ所得

問題ニ付テ繼續シテモ宜シウゴザイマスカ

ノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ御話ノ

ルコトニ致シタイト思ヒマス

○高橋委員長 念ノ爲ニ申上ゲマスガ、只

ノ傍ニ書イテ下サルト參照スルニ非常ニ都

合ガ好イグラウト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ

附加ヘテ置キマス

○渡邊委員 ソレデハ先づ臨時租稅措置法

ニ關シマシテ質疑ヲシタイト思ヒマス、此

措置法ニ依リマシテ四百万圓ヲ減收スルト

云フ御説明ガアツクノデアリマス、其中織物

ノ消費稅額ハ何程デアルカ、之ヲ承リタイ

カ何カニシテ戴クコトガ出來タラ、層結構

カ何カニシテ戴クコトガ出來タラ、層結構

ノデアリマス

○松隈政府委員 平年度ニ於テ約六十三万

三千圓位ノ見込デアリマス

○渡邊委員 平年度ガ六十三万三千圓ト云

フコトハ、昭和十三年ニ於テ六十三万三千

圓減收スルト云フ御言葉ト思ヒマス、是ハ

如何ナル理由デ減ルノデアルカ、本法ノ第

二十一條、第二十二條ノ關係カラ減ルノデ

アルカ、詳細御説明ヲ伺ヒマス

○松隈政府委員 只今平年度ニ於テ六十三

万三千圓程減少致シマスト申上ゲタノハ、

十四年度以降ノコトデアリマシテ、初年度

即チ昭和十三年度ニ於テハ約五十二万八千

圓程減少ノ計算デゴザイマス、ソレカラ

ガドウ云フ理由デ減ルカト云フコトハ、御

イテ質疑ヲ繼續致シマス——渡邊玉三郎君

○渡邊委員 午前ノ續キニ、五万圓ノ所得

問題ニ付テ繼續シテモ宜シウゴザイマスカ

ノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ御話ノ

ルコトニ致シタイト思ヒマス

○大矢政府委員 今ノ御話ノ事項ハ今數字

ヲ検討中デゴザイマスカラ、暫ク御待チヲ

願ヒタイト思ヒマス

○渡邊委員 ソレデハ先づ臨時租稅措置法

ニ關シマシテ質疑ヲシタイト思ヒマス、此

措置法ニ依リマシテ四百万圓ヲ減收スルト

云フ御説明ガアツクノデアリマス、其中織物

ノ消費稅額ハ何程デアルカ、之ヲ承リタイ

ノデアリマス

○松隈政府委員 平年度ニ於テ約六十三万

三千圓位ノ見込デアリマス

○渡邊委員 平年度ガ六十三万三千圓ト云

フコトハ、昭和十三年ニ於テ六十三万三千

圓減收スルト云フ御言葉ト思ヒマス、是ハ

如何ナル理由デ減ルノデアルカ、本法ノ第

二十一條、第二十二條ノ關係カラ減ルノデ

アルカ、詳細御説明ヲ伺ヒマス

○松隈政府委員 只今平年度ニ於テ六十三

万三千圓程減少致シマスト申上ゲタノハ、

十四年度以降ノコトデアリマシテ、初年度

即チ昭和十三年度ニ於テハ約五十二万八千

圓程減少ノ計算デゴザイマス、ソレカラ

ガドウ云フ理由デ減ルカト云フコトハ、御

ノデアリマシテ、人造絹絲其モノヲ五割以上

混ゼテ居ルト云フ見方デナイコトヲ御断り

申上ゲテ置キマス

○大矢政府委員 十三年度ノ一般歳入豫算

ニ組ミマシタ織物消費稅ノ前年度ニ對スル

減收ハ、其大部分ハ毛織物關係デゴザイマ

ス、毛織物ハ其原料ノ大部分ハ輸入ニ仰イ

デ居リマシテ、國際收支改善ノ見地カラ致

シマシテ、國內消費ハ出來ルダケ節約シヨ

ウト云フコトニナツテ居リマスルノデ、昭和

十二年九月末マデノ半簡年ノ實績ニ微シテ、

大體三割減ト見積ッテ居リマス、其他絹織物、

人絹織物或ハ人絹綿ノ交織等ニ付キマシテ

モ、豫算編成當時ニ於キマシテハ增收ヲ見

積ル譯ニハ行カナイヤウナ狀態デゴザイマ

シタノデ、多少減收ヲ見積リ、總體ト致シ

マシテ一割五分ノ減ヲ見積ッテ居ル次第デ

ゴザイマス

○渡邊委員 今總體ガ一割五分ノ減デ毛織

物消費稅ハ三割減デアルト云フ話デアリマ

シタガ、隨テ此稅金ハ間接稅デアリマスガ、

消費稅ガ少クナルコトハ其織物產地デハ消

費稅ニ伴ツテ直接國稅デアル所得稅ナリ、收

益稅モ減額スルト云フコトニ當然ナルノデ

アリマス、左様ナ解釋デサウ云フヤウナ御

計算ニナツテ居ルト解シマシテ宜シウゴザ

イマスカ

○大矢政府委員 先程申上ゲマシタ通リ毛

織物ニ付キマシテハ國內消費ハ相當減退ス

ルト見積ッテ居リマス、隨テ其關係ニ於キマ

シテハ、生產方面ニ於キマシテハ直接稅

ノ方面ニ於テモ相當ノ影響ガアラウト思フ

ノデゴザイマス、唯他ノ方ニ轉換スル途モ

ゴザイマセウシ、又其他ノ營業ノ狀況如何

ニモ依ルコトデゴザイマスルノデ、必シモ

此間接消費稅ノ減少スル程度ニ應ジテ、其地

方ノ直接稅ガ減少スルモノトモ申サレナイ

點モアラウカト存ジマス、十三年度ノ直接

稅方面ノ歲入ノ見積方ト致シマシテハ、大

體ノ趨勢ヲ見テ豫算ヲ立て、居リマスルノ

デ、各地方各稅務署管内ニ互ツテ一々細カク

シタノデ、多少減收ヲ見積リ、總體ト致シ

マシテ一割五分ノ減ヲ見積ッテ居ル次第デ

ゴザイマス

○渡邊委員 今總體ガ一割五分ノ減デ毛織

物消費稅ハ三割減デアルト云フ話デアリマ

シタガ、隨テ此稅金ハ間接稅デアリマスガ、

消費稅ガ少クナルコトハ其織物產地デハ消

費稅ニ伴ツテ直接國稅デアル所得稅ナリ、收

益稅モ減額スルト云フコトニ當然ナルノデ

アリマス、左様ナ解釋デサウ云フヤウナ御

計算ニナツテ居ルト解シマシテ宜シウゴザ

イマス、但シ前年一月一日以降新シク營業

ヲ始メタ者ニ付キマシテハ、其年ノ豫算ニ

分以上ノ收益ノ減少スル者ニ對シテハ、營

業收益稅ノ輕減ノ途モ開カレテ居リマス、

是ハ十三年ガ經過致シマシテ、一年分ノ實

績ガ分シタ場合ニヘ、其實績ニ應ジテ此規

定ヲ運用致シマシテ課稅ノ適正ヲ期シタイ

ト存ジテ居リマス、其十三年ヲ經過スル間ニ

レダケノ產額ガ少クナル、私ハソレ以上ト

シテ毛織物消費稅ニ於テ三割減ルト云フ御

見込ヲ立て、居ラレルガ、隨テ其產地ハソ

ト云フコトニナルノデハナイカ、其點ニ付

テ御答辯ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 稅法ノ立前ト致シマシテ、

前年一月一日前ヨリ引續キ營業ヲ爲シテ居

ヌカラ、今御尋ノ織物產地方面ノ直接稅ハ

シタノデ、變遷ノ激シイ時ニハ多少其點モ考

シテ、詳シク數字ヲ擧ゲテ御答申ス程度ニ

ハナツテ居リマセヌ

○渡邊委員 個人ノ營業所得トカ收益トカ

シテ、詳シク數字ヲ擧ゲテ御答申ス程度ニ

ハナツテオヤリニナルト云フコトヲ同僚ド

ナタカノ委員ノ質問ニ御答ニナツタヤウデ

アリマスガ、果シテサウデアリマスカ

變前三年ノ平均利益ニ對シマシテ、二割五

分以上ノ收益ノ減少スル者ニ對シテハ、營

業收益稅ノ輕減ノ途モ開カレテ居リマス、

是ハ十三年ガ經過致シマシテ、一年分ノ實

績ガ分シタ場合ニヘ、其實績ニ應ジテ此規

定ヲ運用致シマシテ課稅ノ適正ヲ期シタイ

ト存ジテ居リマス、其十三年ヲ經過スル間ニ

レダケノ產額ガ少クナル、私ハソレ以上ト

シテ毛織物消費稅ニ於テ三割減ルト云フ御

見込ヲ立て、居ラレルガ、隨テ其產地ハソ

ト云フコトニナルノデハナイカ、其點ニ付

テ御答辯ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 稅法ノ立前ト致シマシテ、

前年一月一日前ヨリ引續キ營業ヲ爲シテ居

ヌカラ、今御尋ノ織物產地方面ノ直接稅ハ

シタノデ、變遷ノ激シイ時ニハ多少其點モ考

シテ、詳シク數字ヲ擧ゲテ御答申ス程度ニ

ハナツテ居リマセヌ

○渡邊委員 個人ノ營業所得トカ收益トカ

シテ、詳シク數字ヲ擧ゲテ御答申ス程度ニ

ハナツテオヤリニナルト云フコトヲ同僚ド

ナタカノ委員ノ質問ニ御答ニナツタヤウデ

アリマスガ、果シテサウデアリマスカ

マス、尙ホ此度臨時措置法ニ於キマシテ事

アル、ソレハドウ云フ譯カト云フト、所得稅ガ減ツテ行ケバ信用ガナク成ル——五千圓カ一万圓ノ所得稅ガ若シアレバ相當借金ガ出來ル、ソレガ減レバ借金ガ出來ナイ、斯ウ云フノデ無理デモ決定サレルダケ出しテ居ルト云フノデアリマスカラ、唯法ニ依ツテ實際ニ申告スルトカ、或ハ法ニ依ツテ訴願スルコトニシテ濟マスト云フヤウナコトハ、甚ダ宜クナイト思フノデアリマス、此點ニ於テ豫メ標準ノ分ツタモノニ付テヘ、初カラ苛斂誅求ニナラヌヤウニ御心掛ヲ願ヒト云フ御認識デアリマス、是ハ全ク私ハ大イニタイ、殊ニ毛織物ノ三割減產ガ當局ノ見込間違ツテ居ルト思フ、只今局長ノ御答辯ニ依リマスレバ、一時其仕事ガ減ツテモ外ノ仕事ヲスルダラウ、斯ウ云フヤウナ御話モアリマシタケレドモ、織物產地ニ於テハ左様ナ事ハ絶對ニ出來マセヌ、過去ハ存ジマセヌ、現在輸出入ノ措置法ニ依ツテ色々強制的ニ統制ヲ行ハレテ居ル今日ニ於テハ、ソレハ原料ノ配給ガナイ、又毛織物ヲ申シマスナラバ、羊毛ノ本年輸入見込デス、是ハ大藏當局ハ恐ラク御發表ニナラヌト思ヒマスカラ、私ノ方カラ申シマス、内地デ例年使ヒマスノガ六十五万俵デス、昨年ハ内地用七十万

タ中デ一年平均六十五万俵ノ原毛ヲ内地用毛織物ニスルノデス、大藏省ノ爲替管理、ト南工省ノ統制デ、ソレヲウント縮メヨウトシテ居ラレル、ソレハ平年ノ内地需要ノ三分ノ一位ニショウ、斯ウ云フ御方針デアルト云フコトヲ私ハ仄聞シテ居リマス、是ハ根據ガ少シク……御叱リヲ被ルトイケマセヌカラ、仄聞ト申上ゲマス、三分ノ一シカ原毛ヲ入レナイ、假リニ三分ノ一トスルナラバ、四割ノ仕事シカ出來マセヌ、六割ノ仕事ヲ休マナケレバナラヌ、斯ウ云フ現情デアリマス、ソレナラバ織物トシテ他ニ轉業ガ出來ルカト言フト、過去ノ實績ニ依リ絲ノ配給ガ出來マセヌカラ、是ハ他ノ織物ニハ轉業ガ出來ナイ、斯様ニナリマスナラバ當局ノ消費稅減ガ三割ノ見積ト云フモノハ所得稅、營業收益稅ニ於テ見積过大分長イ間地方廻リヲ致シマシテ、稅務署トナル、先ヅ其點ニ付テ御伺ヲ致シマス○大矢政府委員 大藏省ノ机ノ上デバカリ考ヘテ居ツテ地方ノ實情ヲ一向知ラヌデハナイカト云フ御話デアリマスガ、實ハ私ハ大分長イ間地方廻リヲ致シマシテ、稅務署ノ實情モ能ク存ジテ居リマス、又アナタノ御郷里ノ方ノ毛織物ノ產地ニ行ツテ、親シク工場ヲ或ル程度見タコトモコザイマス、全

然机ノ上デヤツテ居ル積リデハゴザイマセ
ヌカラ、其點ハ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト存
ジマス、ソレカラ此毛織物ニ付テ大體三割
減ヲ見積ッタト云フノハ、昨年ノ十月豫算編
成當時ノ現況ニ於テ見積ッタノデアリマシ
テ、其後爲替管理ノ強化、或ハ輸出入品ニ
關スル臨時措置法ノ運用等ニ依リマシテ、
又大分變動ガ參ッテ居ルモノニアリマスカ
ラ、其當時ノ狀況ト變ッテ居ル點モアルカ
ト存ジマス、一方毛織物ニ付キマシテハ、
普通ノ民間ノ消費ハ餘程減ジマスケレド
モ、軍用方面ニ於テハ相當多ク消費スルト
云フヤウナ點モゴザイマシテ、是等ノ毛織
物ニ付キマシテモ、織物消費稅ハ課稅セラ
レルノデアリマスカラ、其點モ御考慮ヲ願
ヒタイト思ヒマス、要スルニ消費稅ニ付キ
マシテハ、昨年ノ十月豫算編成當時ノ狀況
コトデハゴザイマセヌ、殊ニ間接稅ニ付キ
マシテハ、稅務官廳ノ裁量ニ依ッテ増減ト云
フコトハ出來ナイヤウナ狀態デアリマシテ、
經濟界ノ實際ノ狀況、織物業界ノ變遷ニ依
リマシテ、自然ニ増減ガ來ルノグラウト思
ヒマス、ソレカラ所得稅、營業收益稅ニ付
キマシテハ、大體前年ノ實績ニ依ッテ課稅ス

ルコトハ先程申上ゲタ通りデゴザイマス
ガ、昭和十三年分ニ付キマシテハ現下ノ状
況ヲ能ク考ヘマシテ、實際ノ施行ノ上ニハ
十分周到ノ注意ヲ拂ツテ行キタイト存ジテ
居ル次第アリマス

割減ルニ付テハ或ヘ前年ノ標準ヲ見テ、今年ノ所得稅、營業稅ヲ査定スル時ニ、豫メソレヲ含ンデ査定シテ戴キタイ、又私ハ毛織ノ物ダケ申シマシタガ、綿織物ノ方カラ言ヒマシテモ、是モ御承知デアラウト思ヒマスガ、先月、詰リ二月ノ如キハ配給ガ出來強制ト申シマスカ、皆休業シナケレバナラズニ、全國ノ綿織業者、中小工業ハ八日間、ノコトデアリマスカラ素人考トシテ御聽キナイ、現狀ニ至リマシテモ、其配給切符制度ト云フモノガ極メ混沌トシテ居ル、故ニ三月モ四月モ五月モ是ハ御關係ガ達ヒマスカラ、詳細ハ申シマセヌ、兎ニ角配給ガ充分ニ出來ナイ、斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、織物ニ關スル限りハ、相當ニ此收益額ガ減ルト云フコトヲ御承知願ヒタイト思

失ツテ轉業スル者ガ多イ、併ナガラ其人間ガ轉業スル前ニ必ズ稅金ヲ相當出ス、所得稅ヲ出ス、斯ウ云フ例カラ申シマスナラバ、手續ガアルノダト云フコトダケハ承服デキス、豫メサウ云フコトニ御斟酌願ツテ置キタイト要望スルノデアリマス、ソレカラ過去ノ例ニ依リマスト、監督局ハ——私素人藏省カラ監督局へ割當テル、割當テタモノヲ今度ハ監督局カラ稅務署へ割當テル、稅務署ハ否デモ應デモ其稅金ヲ取ルヤウニ署ノ管内ノ中小商工業者配當額ヲ割當テル、斯ウ云フ制度ヲ現在デモ御執リニナルカド

去ノ例ニ依リマスト、監督局ハ——私素人ノコトデアリマスカラ素人考トシテ御聽キ願ヒタイガ、是マデノ例ヲ申シマスト、大臣藏省カラ監督局へ割當テル、割當テタモノヲ今度ハ監督局カラ稅務署へ割當テル、稅務署ハ否デモ應デモ其稅金ヲ取ルヤウニ署本支店ノ關係ガ變ツテ來ルト云フヤウナコトハ絕對ニゴザイマセヌ、殊ニ經濟界ガ監督局ト致シマシテ、左様ナコトヲ致シタ段々複雜ニナツテ來マシテ、個人企業ヲ法人企業ニ直スモノガ多クナツテ來ルトカ或ハ斯ウ云フ制度ヲ現在デモ御執リニナルカド

ウカ

○大矢政府委員 織物業界ガ非常ナ激變ノ過程ニアルコトハ申ス迄モナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ、此度ノ支那事變特別稅當ナル稅金ヲ拂フコトヲ否ムコトハ絶對ニアリマセヌ、唯是マデノ例カラ申シマスト、幸ヒ愛知縣ハ能ク御承知ナラバ能ク分ルト思ヒマスガ、隨分織物製造業ハ永ク富ガ保テナイ、私ハ曾テ調査ヲ——古イデスガ、數年前二十五箇年ノ調査ヲヤッタノデアリマスガ、二十五箇年續クト云フ業者ハ一割

云フコトヲ申スコトハ絶對ニ參ラヌノデアリマス、其點ハ理論ノ上カラ申シマシテ、又實際ニ於キマシテモ、此割當ト云フコトハ絶對ニゴザイマセヌカラ左様御諒承願ヒマス

○渡邊委員 局長サンノ御答辯ノ絶對ニナイト云フコトニ力ヲオ入レニアックコトニ私ハ心強ク感ジマス、併ナガラ私ノ想像ニ依リマスト左様ナコトニナルノデアリマス、殊ニ織物ナドデ見マスト、率ヲ掛ケマシテ、營業收益稅ヲ調查委員ガ示サレタ率ヤ見込ニ依リ、大抵之ヲ甲、乙、丙ト分ケテ之ニ掛算ヲスル、サシテ其掛算ニ依ツテ出タモノヲ所得稅トシ、營業收益稅トスル、是ハアナタノ仰シヤルヤウニハ中々實際ニハ行キ渡ツテ居ラヌト私共ハ今尙ホ信ジテ居リマス、其點ニ於テ兎ニ角所得稅調査員ト云フモノガ掛算ヲヤッテ、サウシテ其人ノ所得ヲ見ル、サウシテ又當局モ必ズ是ダケヘド

○大矢政府委員 今ノ御話ヲ伺ツテ居リマス、アリマセウガ、モウ一遍御答辯ヲ願ヒマスト、何カ二三日前問題ニナリマシタ所稅ノ標準率、營業收益稅ノ純益標準率ト云フモ能ク最近ノ事情ニ即スルヤウニ周到ナル

タガ、此標準率ノコトハ、各稅務署デ實際ニ於キマシテ、營業收益稅或ハ所得稅ノ調查時期ニナリマスト、管内ノ中庸ヲ得タ營業者ニ付キマシテ、前年ノ狀況ハドウデアッタ、其收入ハドノ程度デアッテ、サウシテ支出ハドウ云フ風デ、利益歩合ハドノ程度ニナッテ居ルカト云フヤウナコトヲ或ル程度調査スルノデアリマス、サウシテ其結果大體此稅務署管内ニ於キマシテハ中庸ヲ得タ營業者デアレバ、收入ガ是ダケアレバ、利益ガ此通リデアルト云フコトヲ見積ル一ツノ標準ト致シマシテ、所得標準率、或ハ營業収益稅ノ營業純益ノ標準率ト云フモノヲ設ケテ居リマス、ソレハ個人ノ營業者ガ帳簿ガ完備シテ居リマシテ、計算ガヘッキリシテ居レバ勿論サウ云フコトハ必要ナイノデアリマスガ、大多數ノ中小ノ營業者ノ現狀ニ於キマシテハ左様ニ參リマセヌノデ、隨テ各稅務署ノ間ニ於テ不均衡ニナラヌヤウニスル、爲ニ大體斯ウ云フ標準ニ依ルノガ最モ妥當デハナカラウカト存ジマシテ、之ヲ實行シテ居リマス、勿論此標準率ヲ一旦作製致シマシテモ、ソレニ縛ラレテ杓子定規ニナツテハイケナイト云フ點モアリマスノデ、

譯ニ行カナイト云フヤウナ事情ノアルモノ
ニ付テハ、特ニ考慮シテ、必シモ其標準ニ
依ラナクテモ宜イト云フ取扱ニナッテ居ルノ
デアリマス、併シ私ノ先程申上ゲマシタノ
ハ、ソレトハ違ヒマシテ、甲ノ稅務署ハ、
去年ノ營業収益稅ノ稅額ガ假ニ十万圓アツ
タ、ソレヲ今年ハ相當狀況ガ好イカラ三割
殖ヤシテ十三萬圓ノ稅額ニスル、乙ノ稅務
署ノ方ハ、甲ノ稅務署ヨリ多少管内ノ狀況
ガ惡イカラ、去年ノ十万圓ヲ今年ハ十一萬
圓ニ増スヤウニ割當テルト云フコトハ絶對
ニシテ居リマセヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲ
タノデアリマス、所得標準率ト御話ノ各稅
務署ニ對スル稅額ノ割當トハ性質ガ違ヒマ
スカラ、其點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス
○渡邊委員 此機會ニ太田次官ニ一ツ御尋
致シタイト思ヒマス、毛織物ヲ作ル基ノ原
毛或ハ綿布ナレバ棉花ノ輸入ハ御發表ニナ
ルコトガ出來ナイデセウカ、ソレヲ伺ヒマ
ス

居リマスノデ、一部分ヲオ示シスルト云フコトハ、殊ニ棉ノ如キ金額ニ大キナ關係ヲ持ツテ居リマスモノガアリマスノデ、此點ハ甚ダ殘念デゴザイマスガ、發表スルコトガ出来ナイノデアリマス

○渡邊委員 尚ホ押返シ訊ネマスガ、大抵想像ガ付クノデス、サウ云フモノヲ發表セヌト云フコトハ、業界ニ却テ不安ヲ與ヘル、例ヘバ毛織物業者ハ十分ニ仕事ガ出來ヌ、棉ヲ使ツテ居ル者モ仕事ガ出來ヌ、ソレヲ政府ノ爲替管理等ニ依ッテ何トカ陳情ヲシタラ、ソコニ少シハ裕リガアルノデハナイカト云フヤウナコトデ、大藏省ナドニ始終持込ンデ居ルヤウナ狀態アリマスガ、サウ云フ點ニ於テ發表出來ヌト仰シヤルモノヲ強ヒテ申スコトハドウカト思ヒマスガ、世間一般ハ想像シテ居ル、斯ウ云フコトハ御承知デアルカナイカ、世間一般ト申シマシテモ、ソレハ大工場筋トカ、玄人筋トカ言ヒマスカ、サウ云フ者ダケガ承知シテ居ルト云フコトガ寧ロ物價高ヲ招來スルコトノ原因ニナル、今一言御答辯ヲ願ヒマス

○太田政府委員 輸入數量ノ見越ニ依リマシテ、物價高ノ思惑ガ出ルコトハ是ハアルカモ知レマセヌ、併ナガラ民間ノ方々デド

ノ位ナ割當ニナツテ居ルダラウト云フ玄人
筋ノ御批評ノアルコトモ承知シテ居リマス
ガ、ソレヲ必シモ宜イト云フヤウニ斷言出
來ナイノハオ聞及ビデモゴザイマセウガ、
大藏大臣ノ説明ニモ時々アリマシタ通り、
非常ニ數多クノ品物ニアリマシテ、其
一ツ／＼ヲ選り出シマシテ、是ガ幾ラノ軍
需品、是ガ幾ラノ民需品、總額ガ幾ラニナツ
テ使用ガ、ドレダケアツテ、ドウナツテ居ル
ト云フヤウナ關係ハ、一體トシテノ計畫ニナツ
テ居リマスノデ、直接ニ御事業ヲナサッテ居
ル方カラ言ヘバ何レモ聞カレタイコトデア
リ、又コチラカラモ申上グベキコトデゴザイ
マスガ、今言ツタヤウナ爲替ノ一體制ヨリ全
體ノ計畫ヲ立て、居リマスノデ、甚ダ殘念
ナガラ此點ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイト思
ヒマス

アル、之ヲ月割ニスルト輸出六月ニ二十万担
ソレカラ國內需要ガ十三万五千担、是ガ一
箇月我國棉花ノ平年ノ必要量デス、ソコデ
其輸出ノ中デモ滿洲、關東州ハ之ヲ國內ト
ト云フノデアリマス、若シ國內ガ「スフ」混綿
絲六割ト見テモ——相當減額ハシマス、マ
アスウ云フコトヲ發表シテ善イカ惡イカ知
リマセヌガ、私ハサウ想像シテモウ此邊デ
措キマスガ、兎ニ角非常ニ少ナイ數字デア
ル其少ナイ數字デアル其處ニ無理ガアリ過
ギル、棉花ノ如キモノハ今少シ裕リ付ケテ、
輸入スペキモノデアル、一面ニ於テ國內消費
ヲ節約スルコトハ當然デアリマスケレドモ、
無理ナ節約ヲ強ヒテ居ナイダラウカ、例ヘ
バ紡毛絲ノ織物ニ「ステープル・ファイバー」
ヲ入レ、是ガ絶對ニ必要ダト言ッテ強制スル
コトハ、國家經濟カラ行キマシテモ、國際
收支ノ上カラ行キマシテモ、所謂國民經濟
カラ行ツテモ、少シモ理解ガ出來ナイ、斯ウ
云フ物ノ如キハ、其織物ノ強力ヲ増ス爲ニ
繫ギニ入レルモノデ紡毛絲ト言ツテモ太田
次官ハ御分リニナラヌカモ知ラヌガ、局長
ハ能ク御分リト思ヒマスガ、紡毛絲ト申シ
マスノハ再整シタ毛絲デ屑ノ絲ニ繫ギラ入
レルノデアリマスガ、是ヘ純綿絲ヲ入レナ

ケレバ實際強力ガナイト思ヒマス、斯様ナ
物ニマデモ今後御入レニナラヌ、斯ウ云フ
コトハ何レノ方面カラ言ツテモ宜クナイト
思フ、斯ウ云フ點ニ於テ、幾ラ何ト言ツテモ
入レヌ積リデアルカ、是ハ必ズ改メラレル
ト思フ、其點ヲ承リタイ、農業用ニ付キマ
シテモ、是ハモウ兩ノ降ル時ナドニ「ステー
ブル・ファイバー」ヲ入レタ織物ハ、ドン
ナニ今日ノ化學デ御研究ニナッテ居ツテモ棉
花ニハ及ビマセヌ、其「バルブ」ト言ヒマシ
テモ昨年一億何百万圓輸入シテ居ル、斯ウ
云フ關係カラ、棉花ヲ輸入シテ、片方デハ
「バルブ」ヨリ出來タ「スフ」ノ消費ヲ節約ス
ル、サウシテ目的ヲ達スルコトガ必要デア
ラウト思ヒマスガ、其點ニ付テモウ一應御
答辯ヲ願ヒマス

○太田政府委員 代用シタリ色々スル關係
ニ於キマシテ、實際ニソレヲ御使ヒニナッテ
見テ所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト
云フコトハアルカモ知レマセヌ、ケレドモ、
サウ云フ技術ノ方ハ、私ガ知ラヌバカリデ
ナク、大藏省トシテモサウ云フ方面ノ代用
綿トヲ使フ目標デアリマスカラ、相當ノ生
産額ガ減ツテ行カナケレバナラナイコトハ
レガ必要ナモノデアリ、本當ニソレガ置代
ヘラレナイモノデアリマシタナラバ、輸入

ノ數量關係ニ付テ考慮シナケレバナラヌ所
ガアルカト思ヒマスケレドモ、然ラバト言ツ
テ其點ヲ論據トシテ爲替ノ割當ヲ發表スル
ト云フコトハ、甚ダ重ネテ失禮デゴザイマ
スガ、一寸御趣意ニ副フコトノ出來ナイノ
ヲ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 先程カラ三割減ト申シテ
居リマスノハ毛織物ニ對スル消費稅ノ減ノ
コトデゴザイマス、直接稅ノ方ハ前年ニ對シ
テドウ云フ風ニナルカト云フノハ是トハ全
ク別個ノ問題デアリマシテ、狀況ガ著シク
惡ケレバ三割以上減ル場合モアルカト思ヒ
マス、又ソレ程デモナケレバ三割ニモナラ
ナイト云フ場合モアラウカト存ジマス、是
ハ消費稅ノ三割減トハ必シモ歩調ヲ一ニシ
テ行クモノデナイト存ジテ居リマス

○太田政府委員 ソレハ先程カラ申上ゲテ
居リマス通り、稅ノ立前ハ原則トシテ前年ノ
實績ニ依ルト云フコトニナッテ居リマシテ、
其原則ヲ全ク覆ス譯ニハ行カナイコト存
ジマス、唯從來モ、餘リニ之ヲ杓子定規ニ
墨守スル結果實情ニ副ハナイ場合ガアッテ
ハイケナイカラ、相當ノ考慮ヲ拂ツテ行カナ
ケレバナラヌト云フコトハ考ヘテ居タノデ
アリマス、本年度分ニ付キマシテハ特ニ其
點ハ出來ルダケ考慮シテ行クコトニ致シタ
イト存ジテ居リマス

○渡邊委員 從來ノ例ヲ墨守シテ行ク、ソ
レハ普通ノ時ナラ宜シイ、今日ハ普通ノ時
デハナイ、全ク國策ニ依ツテ、サウシテ計畫

的、強制的ニ継制シテ行ッテ、ソレガ業者ヲ萎縮スルト云フコトハ明カナ事實デアリマス、斯ウ云フコトニ付テ、昔カラサウ云フ例ヲ持ッテ居ルト云フ 御答辯ニ付テハ甚ダ私ハ承服ガ出來ナイ、殊ニ茲デ法人ハ的確ナル數字ガ出ルノデアリマスケレドモ、個人ニ向ッテハサウ云フヤウニサレテ行キマスト、個人ニ非常ニ負擔ガ多イヤウナコトニナツテ來ルト思フ、其點ニ付テ、何處マデモ過去ノ習慣デアルカラ墨守スルト仰シリノカ、尙一應承リタイ

○大矢政府委員 私ノ申上ゲマシタノハ、稅法ノ立前ハ前年ノ實績ニ依ッテヤツテ居ル、此稅法ノ立前ニ於テ今アナタノ仰シリヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ臨時租稅措置法ト云フモノ迄モ立案致シマシテ、成ベク狀況ノ著シク不況ニ陥ッタモノニ對シテハ其實情ニ即スルヤウナ負擔ノ輕減ヲヤラウト思ッテ居リマスルノデ、其法律ノ趣旨ハ十分ニ徹底スルヤウニ實情ニ即シテヤリタイト存ジテ居リマス、度々渡邊サンノ御話デゴザイマスルガ、要スルニ此十三年ハ今後ドウナツテ行クカト云フコト

モ將來ノコトデアリマスシ、斯ウ云フ風ナ經済界ノ變遷ノ激シイ時デアリマスカラ、マダ十分ニ分ラナイカト存ジマス、營業收益稅ノ決定ハ遲クトモ本年ノ五月ニ調查委員會ノ議ヲ經テ決定スル譯デゴザイマシテ、其後又情勢ノ變化ニ依ッテドンナ風ニナツテ行クカモ分リマセヌ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、此臨時措置法ヲ活用致シマシテ、此一年ヲ經過致シマシテ、實績ガ分ッタ場合ニハ十分輕減シテ行カウ、ソレカラ營業收益稅ノ徵收期ハ七月ト十一月ニナック居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマシテ、例ヘバ棉花、羊毛ノ如キモ、昨年ハ相當領上リノ爲ニ利益ヲ得テ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマセヌ、法人ハ絕對ニ實績課稅ニ於テ非常ニ有利ノ立場ニアルト云フヤウナ御話デゴザイマスケレドモ、是モ必シモナラバ、ソレハ過去ノ慣例ヲ破ッテ、サウシ左様デハアリマセヌ、法人ハ絕對ニ實績課稅ニ對シテニ斟酌スベキモノデハナイカ、此點ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、殊ニ是ガ減ルニ決ッテ居ル、アナタ方ノ方デ爲替管理、輸入制限ヲシテ置イテ、サウシテドウシテ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマシテ、例ヘバ棉花、羊毛ノ如キモ、昨年ハ相當領上リノ爲ニ利益ヲ得テ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマシテ、例ヘバ棉花、羊毛ノ如キモ、昨年ハ相當領上リノ爲ニ利益ヲ得テ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマシテ、例ヘバ棉花、羊毛ノ如キモ、昨年ハ相當領上リノ爲ニ利益ヲ得テ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

税デゴザイマシテ、例ヘバ棉花、羊毛ノ如キモ、昨年ハ相當領上リノ爲ニ利益ヲ得テ居ル法人ガ澤山アリマス、是等ハ實績課稅ニ依ッテ相當重キ租稅ノ負擔ヲ受ケル、是ガスレバ、將來減少シタダケノ實績ニ依ッテ課稅ヲ受ケルト云フコトニナリマスガ、個人ニ於キマシテハ原則トシテ前年ノ實績課稅ニ依リマスケレドモ、其年ヲ經過シテ、翌年ニナツテ見タナラバ、其年ノ實績ガ決定ノ純益ニ對シテ二分ノ一以下ニ減少シタト云テ居リマスガ、七月ニナリ或ハ十一月ノ時分ニナツテ、狀況ガ非常ニ惡クテ、ドウシテモ此儘ノ課稅デハイケナイ、十二月ヲ過ギテ翌年ニナツテ此臨時租稅措置法ノ適用ヲヤウナヤリ方ヲ遽ニ採ツテ行ク譯ニハ參ラヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、唯本年度分ニ付キマシテハ、從來ト非常ニ異ル事情モアリマシテ、ソレガ爲ニ負擔ノ輕減ヲ致サウ、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、稅務行政ノ實際ニ於キマシテハ、

定シテ課稅ヲ幾ラ減ラスト云フヤウナ方法
ハ執リ難イ、ヤハリ實績課稅デ行クヨリ外
ナイ、主稅局長ガ申サレタ通リデアルト御
答スルヨリ外ナイノデアリマス

○渡邊委員 太田サンニ申上ゲマスガ、昨年ヨリハ少イコトハ御承知デアリマセウ、少クナルコトハ御分リニナリマセヌカ、織物ト云フモノガ總生産額ニ於テ減ルコトヲ

○太田政府委員　甚ダ失禮デスガ、モウ一
遍松隈君カラ御答申上ゲマシテ、更ニ御質
問ヲ願ヒマス

○松隈政務委員　一寸私から申上げて見タ

イト思ヒマス、渡邊サンノ御心配ニナッテ
居ルコトハ御尤ナ點モアルノデゴザイマ
スガ、御承知ノ通リ昨年七月ニ支那事變ガ
勃發致シマシテ、ソレカラ輸出ガ杜絶ス
ル、爲替管理ガ一層強化サレルト云フヤウ
ナコトカラ致シマシテ、又一部ニ於キマシ
テハ國民精神總動員等ノ關係カラ、織物ヲ
買入レルコトヲ節約スルト云フヤウナ關係
モ手傳ヒマシテ、織物業者ノ方々ニハ昨年
ノ後半期ノ成績ガ良クナカッタト云フコト
ハ、洵ニ仰シヤル通リデゴザイマス、ソコ
デ此織物業者ノ昭和十三年分ノ課税ト云フ
モノヲ前年ノ實績デ決定ヲ致シマスルト云

フト、前年ノ中前ノ半年ハ良クテ後ノ半年
ハ大體惡カッタ、ソレデアルカラ前年ノ實績

テ取りマヌルト云ナト。今年大體見透シガ
全一年惡イト云フ風ニ見ラレマス時ニハ酷

ニナルコトハ仰シヤル通リデゴザイマス、
併シ此一年ノ豫想ト云フモノヲ先ヅ常識的

ニ申上ゲマスレバ、前年ノ半年ガ其儘同ジ

ヤウナ状態が一年分ニナルデアラウト云フ

チニ其豫斷ヲスルコトモ困難デ、或ハソレ以

上悪クナルヤウナ場合モ考ヘラレマスシ、

又ソレヨリモ良クナルト云フヤウカ場合モ
考ヘラレマス、而モ此本年ノ五月ニ調査委

員會ニ掛ケテ決定ヲ致シマス場合ニ於テ、

仰シヤル通り悪クナリサウダカラ豫算デ見
積ツテ置イタラ宜カラウ、トスウ仰シヤレノ

デスガ、豫算ノ見積リガ中々困難ナノデア

リマス、其後半年ガ悪カツタカラト言ツテ、
其後三ヶ月、二月ノニ一ヶ月、ノノ月、

其後半年分テ「倍シテ一年分トスルトニ」ア
コトモ、場合ニ依ツテハ當ツテ居ル場合モア

リ、或ハ當ラナイ場合モアリマシテ、殊ニ豫

算デ課稅スルト云フコトニナリマスト、多
少強氣ノ見方ヲスルカ弱氣ノ見方ヲスルカ

ニ依ツテ豫算スル額ニ差ガ出來テ來マス、ソ

コデ今回ノ臨時租稅措置法ト致シマシテハ、

所得ナリノ決定ノ方式ヲ其儘襲用致シマシ
テ、已ムヲ得ズ前年ノ實績ニ依ツテ一應課
稅ヲ致シマス、隨テ先程私ガ申シタ通りニ、
前半ハ良クテ後半ガ惡イ實績ニナッテ居リ
マスカラシテ、今年ノ實情ト或ハ違フカモ
知レナイ、サウ云フ前年ノ實績ヲ取リマシ
タ結果、折角此臨時租稅措置法ニ規定シテ
アル所ノ二割五分以上純益ガ減ヅタ場合ニ
ハ二割乃至五割營業収益稅ヲ輕減シテ貰ヘ
ルト云フ恩典ニ或ハ浴シナイ人ガ出テ來ル
カモ知レマセヌ、或ハ恩典ニ浴シテモ其輕
減割合ガ少イト云フ人ガ出テ來ルカモ知レ
マセヌケレドモ、前年ノ實績デ決定ヲ致シ
タト云フ其事ガ已ムヲ得ザルニ出デタルコ
トデアリマスルカラ、ソレヲ救濟スル途ヲ拓
キマシテ、此一年間經ツテ見マシテ、其人ノ
實際純益ヲ見マシテ、サウシテ翌年ノ一月
三十一日迄ニ實際純益ガ決定純益即チ前年
ヲ標準トシタ純益ト違ツテ居ルト云フコト
ヲ申出マスレバ、前ニ輕減ヲ受ケナカッタ人
モ、一年經ツテ見テ輕減ヲ受ケ得ル資格即チ
平年度ニ對シテ二割五分以上減損シテ居ルト
云フコトニナレバ改メテ輕減ヲスル、ソレ
カラ前ニハ輕減割合ガ低カッタノダケレド
モ、一年經ツタ實際純益デ見ルト輕減割合
モ、モト多カルベキ筈ダト云フ時ニハゾレヲ
從來減損更訂ト云フノハ、二分ノ一以上營
業純益ガ減少シタ時ニ減損更訂ニナルノデ
リマシテ、當初決定ニ對シテ營業ノ純益
ガ四分ノ一以上減ヅタナラバ、營業収益稅
額モ直シテ貰フ、サウシテ更ニ割引率ト
云ヒマスカ、輕減率ト云フモノモ直シテ貰
フト云フコトニ依リマシテ、稅法上已ムヲ
得ズ前年ノ實績ヲ採ツテ、本年一應決定ヲ
シテ輕減割合ヲ決メマシテモ前年ノ實績ヲ
採リマシタ結果生ズル弊害ハ之ヲ除去スル
ヤウニ萬全ノ方法ヲ講ジテアル次第デアリ
マス、前年ノ實績ト云フコトニナリマスレ
バ、兎ニ角申告モ容易デアリ、稅務署長ノ
決定乃至ハ調查委員會等ニ於ケル調查委員
ノ決定モ一應基礎ガアルノデスカラ決定シ
易イノデアリマスガ、御話ノヤウニ豫算デ
決メテ置クト云フコトモ確ニ一ツノ方法デ
アリマスケレドモ、其豫算ヲ議論スルト云
フコトニナレバ、稅務署長モ幾ラ見積ツテ宜
イカ分ラナイ、調查委員モ幾ラヲ以テ見積ル
ノガ宜イカト云フコトガ中々神ナラヌ身ノ
定メニクイ、サウスルトソコニ非常ニ水掛論
ガ起ツテ困難ニナリマスカラ、今申上ゲマシ
タヤウニ前年ノ實績デ行キマスケレドモ、

ガ、此問題ハ或ル雇人ガ其金ヲ胡麻化シテ居ッテ、引取書ハ自分デ直シテ居ッタ、唯主人ガ帳簿カラ見ルト稅務署ノ判ヲ捺スノデアリマスカラ、其通リニ思ッテ居ッタ、所ガソレガ爲ニ兎ニ角千五百圓ノ脱稅處分ヲ受ケタ、主人ハ到頭病氣ニナッテ死ニマシタ、其雇人ハ猫イラズヲ飲ンダケレドモ死ニ切レズニ今ハ或ル警察ニ自首シテ出タ、是ハ本年一月頃ニアツタ話デスガ、サウ云フヤウナ事件デアリマシテ、所謂五倍取ルノガ本當カ、税金ダケ取ルノガ本當カ、ドウ云方針カト云フコトヲ此實例ニ付テ承リタイ○松隈政府委員 具體的ノ問題デアリマスルノデ、モウ少し詳シイ實情ヲ調ベタ上デナケレバ、的確ナ御答ハ申上ゲ兼ネマスケレドモ、大體主人ニハ正當ノ記帳デアルカノ如ク見セ掛ケテ置キマシテモ、稅務署ノ關係ニ於テ引取ヲ胡麻化スコトヲヤッタ、サウシテ其雇人ガ主人ニ依ッテ正當ニ傭入レラレテ、稅務署ノ關係ニ於テハ主人ニ代ッテ納稅義務ヲ果スモノデアルト云フコトニナレバ、サウシテ脱稅犯ガ成立スルヤウナ状況ニアリマスレバ、ヤハリ此責任罰ノ規定、及ビ脱稅犯ノ規定ノ適用ニ依ッテ、脱稅シマシタ消費稅額ノ五倍ニ相當スル罰金ヲ課スルコトニ至ッテモ已ムヲ得ナイカと思

ヒマスガ、尙ホ前後ノ事情ヲモウ少し調べテ見ナイト、今斷定的ニハ御話致シ兼ネマス
○渡邊委員 今ノ御答辯ハ御尤デアリマス、併ナガラ斯ウ云フヤウナ問題ニ付テハ、本當ニ故意デハナイノデス、而モソレヲ重キ處分ヲスルト云フコトハ不當デアルト信ズルノデス、是ハ偶ニアリマセウガ、兎モ角ソレガ爲ニ病氣ニナッテ死ンダト云フヤウナ實例ノ如キハ、洵ニ可哀相ダ思フノデアリマス、殊ニ今中小工場ノ五人ヤ六人ノ雇人ヲ使ッテ居ル工場デハ、主人ニ代ッテ若イ小僧ガ消費稅金ヲ受ケニ行クト云フコトハ當然デアリマシテ、間違ガアリマシタ點ニ付テハ、成タケ温情ヲ以テ顧ヒタイト云フコトヲ特ニ御願シテ、此問題ニ付テハ是デ止メマス、モウ一つ御

○大矢政府委員 前ニ申上ゲマシタ通り、稅務官吏ヲシテ各戸別ニ廻シテ國債ノ買入方ヲ勧誘シタト云フコトハゴザイマセヌ、唯相当程度ノ使用人ヲ使ッテ居ル工場等ニ於テ、ドノ程度國債ヲ買入レル見込ガアルダラウカト云フコトハ調査致シタコトガアルト云フ話デゴザイマスガ、決シテ是ハ稅務官吏ヲシテ戸別ニ廻シテ國債ノ買入方ヲ勧誘シタ云フ譯デハゴザイマセヌ

○渡邊委員 將來其限度ヲ決シテ、サウ云コトモナケレバ、又強制的ニ持タスト云フコトモナケレバ、又強制的ニ持タスト云フ考モゴザイマセヌ、唯希望ノ點ヲ理財局側デ税ヲ引カナイ前デ五万圓ノ純益ガ舉ルト致シマスト、今申上ゲマシタ所得稅及ビ同附加稅以外ノ稅ヲ經費トシテ差引キマスレバ、純益ハ三万七千六百三十三圓ニナル譯デアリマス、隨ヒマシテ臨時利得稅モ前ハ九千餘圓デアリマシタモノガ六千七百餘圓ニナッテ來ル、所得稅ノ方モ前ハ一万餘圓デナリマシタ例ハ、個人デアッテ數年前ニ開業シテ、昭和九年、十年、十一年ノ三箇年ノ平均ノ利益ガ五千圓以下デアツタモノガ、十三年ニ五万圓ノ利益ヲ擧ゲタ場合ニ於テハ、臨時利得稅ト所得稅、ソレカラ所得稅附加稅、營業収益稅、營業収益稅附加稅ヲ込メテ約二万五千圓ノ租稅負擔ニナルト云フ御話ハ、御話ノ通リデゴザイマス、一應計算致シテ見マスト、二万五千六百二十三圓程ニナルカト思ヒマス、サウ致シマシテ、此者ガ翌年ニ於テモ營業狀態ニ變化ガナカッタ致シマスト、此二万五千圓ノ内、所得稅ノ一万餘圓、ソレカラ其附加稅ノ二千計算セラレナイコトニナッテ居リマスガ、臨時利得稅ノ九千餘圓、ソレカラ營業収益稅ノ千二百餘圓、營業収益稅附加稅ノ千八百餘圓ト云フモノハ營業ノ經費ニ計算スルコトヲ認メラレテ居ル次第デアリマス、ソコデ税ヲ引カナイ前デ五万圓ノ純益ガ舉ルト致シマスト、今申上ゲマシタ所得稅及ビ同附加稅以外ノ稅ヲ經費トシテ差引キマスレバ、純益ハ三万七千六百三十三圓ニナル譯デアリマス、隨ヒマシテ臨時利得稅モ前ハ九千餘圓デアリマシタモノガ六千七百餘圓ニナッテ來ル、所得稅ノ方モ前ハ一万餘圓デ

アリマシタモノガ、今度ハ七千餘圓ニナッテ參リマシテ、其後ノ翌年ニ於キマスル稅金ハ營業狀況ニ變化ナシテ致シマシテ、所得稅以外ノ稅金ハ、經費トシテ引クコトヲ認メマスルカラ、稅金ハ一万八千百三十六圓程デ宜イト云フコトニナル次第デアリマス、尙ホモウ一ツ例ヲ變ヘマシテ、今度ハ稅ヲ引イタ所得ガ五万圓アツタ場合ヲ假定致シマスレバ、先程モ申シタ通り所得稅以外ノ稅ヲ經費ニ認メルノデゴザイマスカラ、其人ノ稅込ミノ實際ノ所得ト云フモノハ六万二千三百六十七圓トナル筈デアリマス、サウシマシテ稅ヲ引イタ殘リガ五万圓デアリマスカラ、五万圓ノ稅金ハ先程申シタ通り二万五千六百二十三圓トナル、ソコデ稅込ヨリモ稅負擔ノ割合へ輕クナル次第ゴザイマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分リニクイカト思ヒマスカラ、之ヲ渡邊サンニ差上ガマシテ、更ニ御質問ガゴザイマシタラ、ソレニ對シマシテ御答申上げマス。

○渡邊委員 迪モは計算シテ貰ッテモ難シクテ質疑ヲ繼續シテモ御迷惑ト思ヒマスカラ、大體御説ノ通り承ッタコトニシテ置キマス、要スルニ新規營業デヤリマスレバ、五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○松隈政府委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○渡邊委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○松隈政府委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○渡邊委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○渡邊委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○渡邊委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

○渡邊委員 只今渡邊サンノ御話ハ個人ト法人トノ負擔ノ均衡論デゴザイマシテ、個人ニ付キマシテハ營業収益稅ヲ課シマスガ、兎ニ角事變前ト比ベマシテ儲ヶガ十倍ニ五万圓ノ利益ノアル人ハ二万五千六百二十圓ノ稅金ニナル、斯ウ云フ大キナ數字ニアルノデアリマス、ソコデ法人ニハ總テノ稅ヲ控除シタモノヲ以テ純益ナリ利益ノ計算カラ、減價償却トカ、社債利子トカ、稅金トカ、總テノ償却ヲサレテ居リマスガ、個人ニハソレダケ稅金ノ中デ所得稅ヲ除クノ外ノ稅金ダケハ之ヲ支出ト認メルノデスネ、其他ノ減價償却モ亦借金ノ利子ナドモ認メルノデセウネ、新規ニ個人營業ハ總テノ事業ガ起シニクイ、斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、其點ニ於テハ是ガ適當ト御考ヘニナッテ居ルカ、私ハ同ジ五萬圓ノ利益アル人ガ法人デアリマシテ、一割ノ配當デアルナラバ、五十萬圓程ノ資本ガ金ヲ要スルシ、個人デモ五十萬圓ノ資本ガナクテハ五万圓ト云フ利益ハ得ル事ハ出來ナイ、併シ法人ノ方デアリマスト、一万二千三百八十九圓デアリマスガ、個人ニナリマス、併シ此數字ヲ宙ニ申上げテモ御分致シマスト、個人デ新規ノ營業ハ出來ナイト云フ結果ニナル、此點ニ於テ何カ將來ニ處スル御考ガアルカ御答辯ヲ願ヒタイ

風ナ不均衡ヲ廢シテ、其足ラヌ所ハ所得稅ヲ平均多クスルノダ、斯ウ云フヤウナコトガ適當ナリト思フノデアリマスガ、次官ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○太田政府委員 此甲乙ニ分ケマシテ基準年度ヲ二ツニ致シマシタガ、ソレモママ三

年ト云フ間ノ業況ヲ睨ンデ居ルノデゴザイマスカラ、色々ナ場合ヲ見ルト議論ノ點モゴザイマスカモ知レマセヌガ、大體三年ト云フ間ヲ見テ、事變利得ト其前ノ利得トノ基準ヲ作ツタ譯デゴザイマスノデ、二ツノ基準ヲ見出スノニハ昭和十一年前ト又其前ノ基準年度トノ選ビ方ガナイノデゴザイマシテ、是モタッタ一年取ルノデナク、三年間ヲ見ルノデゴザイマスカラ、其邊ニ於テ利得ノ限界ガ分ルノデハナイカト斯ウ云フ立前デ此立法ヲシタノデゴザイマス

○渡邊委員 立法ノ御方針ハサウダト云フコトハ私共承知シテ居リマス、唯御方針ハサウデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ一方カラ言ヒマスト百六十万圓以上ノ者ハ百分ノルノニ、僅カ五万圓ノ者デモ實際カラ言フト百分ノ五十五以上ニ達シテ居ルヤウナ稅金ヲ出サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスガ、其點モ私ハ今論ジテ居リ

マセヌ、唯其利得稅ガ甲種、乙種ニ分レテ居ル、サウシテ個人ト云フモノハ其儲ケタ

金ヲ順ニ積ンデ行クモノデアリマセウ、私ハサウ云フ解釋ヲシテ居リマス、一定ノ資

産ガアッテサウシテ一ツノ事業ヲ經營シ、ソニ資本ヲ注入シテ行ツテサウシテ利潤ガ上ッタノダ、斯ウ云フ風ニ言フナラバ、儲ケタ者ハ成ベク同ジヤウナ稅金ヲ出シタイ、私ハ此稅金ガ高イ安イト云フコトヲ論ズルノデハアリマセヌ、デアリマスカラ斯ウ云フ利得稅ト云フモノヲ廢シテ、サウシテ全體ニ稅金ヲ課ケルコトガ將來ノ御方針デアツテ欲シイ、アナタノ御意見ハドウデアルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○太田政府委員 將來時局ガ安定致シマシテサウシテ經濟事情ガ變ツテ參リマシタナラバサウ云フコトガ出來ルダラウト思ヒマスガ、其命令ノ定ムル場合トハドウ云フモノデアルカト云フコトハ、此前命令要綱ト致シマシテ御配リシタト思ヒマスガ、大體只今考ヘテ居リマス所ハ、傷病兵及ビ出征軍人遺家族ノ慰問及ビ其他ノ軍人援護、ソレカラ兵器艦船其他國防費ノ獻納、陸海軍

普通ノ醫者ニモ掛レナイ人々ガ、賣藥ニ醫療ヲ求メルニ對シマシテ、普通ノ醫者ニ掛カルノハ何等稅ガ課カラナイノニ、賣藥ニ

用ヒタ場合ハ法文ニ明ニナツテ居リマス、隨テ新聞社等デ行ヒマス歲末同情週間ト云ツタヤウナ催シ物ノ場合ニ於テハ、豫メ稅務署ニ届ケ出マシテ、其收益ハ何々ノ慈善事業ニ使フノデアルト云フコトガ明ニナツテ居リマスレバ、入場稅ヲ課シナイ、ソレカラ尙ホ命令ノ定ムル目的ニ充ツル場合ニ於テハ同ジク入場稅ヲ免除スルコトニナツテ居リマスガ、其命令ノ定ムル場合トハドウ云フ

リマス、隨テ今日ノ所ハ賣藥稅ヲ復活スルト云フコトハ考ヘテ居ラナイヤウナ次第デアリマス

普通ノ醫者ニモ掛レナイ人々ガ、賣藥ニ醫療ヲ求メルニ對シマシテ、普通ノ醫者ニ掛カルノハ何等稅ガ課カラナイノニ、賣藥ニ

ソレ自體非常ニ社會政策的デナイン、斯ウ云フ見地ノ下ニ廢稅ニナツタヤウナ次第デアリマシテ、隨テ收入ヲ社會事業等ニ使フ點カラ言ツテハ、社會事業カラハ甚ダ結構デアリマスケレドモ、課稅自體ニ先程モ申シマシタ社會政策上カラ見テ、之ヲ稅トシテ起スコトハ考慮ヲ要スベキコトダト思フノデアリマス、隨テ今日ノ所ハ賣藥稅ヲ復活スルト云フコトハ考ヘテ居ラナイヤウナ次第デアリマス

○渡邊委員 產業組合ガ酒ノ販賣ヲ始メヨウト云フ時ニ是ハ許サレヌコトニナルノデコトガ出來マス

普通ノ醫者ニモ掛レナイ人々ガ、賣藥ニ醫療ヲ求メルニ對シマシテ、普通ノ醫者ニ掛カルノハ何等稅ガ課カラナイノニ、賣藥ニ

アリマスカ

○大矢政府委員 免許ヲ申請シテ許可ヲ受ケレバ、酒ヲ購買組合ノ組合員ニ賣却スルコトガ出來マス

普通ノ醫者ニモ掛レナイ人々ガ、賣藥ニ醫療ヲ求メルニ對シマシテ、普通ノ醫者ニ掛カルノハ何等稅ガ課カラナイノニ、賣藥ニ

組合ニ許シテモ宜イガ、監督局カラソレハ許可ガナイト云フヤウナ話ヲ聞イテ居リマ

○松隈政府委員 賣藥稅ヲ以テ社會事業ノ救療費ニ充ツル意思ハナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、賣藥稅ヲ以テ目的稅式ニ社會事業ノ方ニ充テ收入ヲ以テ目的稅式ニ社會事業ノ方ニ充テ

普通ノ醫者ニモ掛レナイ人々ガ、賣藥ニ醫療ヲ求メルニ對シマシテ、普通ノ醫者ニ掛カルノハ何等稅ガ課カラナイノニ、賣藥ニ

ノモノデハ出來ナイ、ソレカラ產業組合ハ煙草ヲ賣ルコトハ出來ルカ出來ヌカ承リタノノデス、煙草ニ付テハ農林省デハ、產業組合ニ許シテモ宜イガ、監督局カラソレハ

スカラ、大藏省ニ敢テ質問ヲスル次第デア
リマス

○大矢政府委員 專賣局ノ方ニ傳ヘマシテ
御答致スコトニ致シマス、ソレカラ産業組
合以外ノモノニハ許可ヲ與ヘナイカト云
フ御質問ノ御趣旨、一寸香込ミ兼ネマス
ガ……

○渡邊委員 酒屋ガ今現在二十四万人アル
ト云フコトデアリマシタ、ソコデ從來營業
シテ居ル者ニ御許シニナル、所謂酒屋ノ新
規ノ營業ヲ許サナイ、斯ウ云フ御方針ノヤ
ウニ承リマシタガ……

○大矢政府委員 昭和十三年一月一日現在
ニ於テ酒類ノ販賣ヲ致シテ居ル者ガ、本法
施行後一箇月以内ニ申告ヲ致シマスレバ、
免許ヲ受ケタル者ト看做スコトニ致シテ居
リマス、ソレカラ新シク開業スルコトニ付
キマシテハ、免許ノ申請ヲ致シマスレバ、
實情ヲ調査致シマシテ免許ノ許否ヲ決メル
積リデアリマシテ、今後新規免許ハ一切許
サヌト云フ方針デハゴザイマセヌ

○渡邊委員 尚ホ大臣ニ御尋シタイ其他ノ
質問ヲ留保シテ、今日ハ電力案ガ本會ニ上
程セラレマスカラ是ニテ一時打切りタイト
思ヒマス

○東條委員 資料ヲ二三御願シタイト思ヒ

マス、今砂糖ノ既往五箇年ノ課稅斤數ノ表
ヲ戴キマシタガ、十三年度ノ見込數量ト稅
額ヲ、ヤハリ此處ニアリマスヤウナ種類別
ニシタ表ヲ御提出願ヒタイト思ヒマス、ソ
レカラ取引稅、是モ大體二種デスケレドモ、
序ニ一種二種三種ヲ甲乙ニ分ケテ、ヤハリ
最近五箇年間ト、ソレカラ十三年度ノ見込
ノ課稅標準ノ數、ソレカラモウ一ツ、今度
ノ增稅ヲ各稅種別ニ細カクシタモノ、例ヘ
バ物品稅ノヤウナモノハ種類別デナク、一
種ノ甲類ナラバ、其甲類ノ何ガ幾フ、何ガ
幾フト云フ詳シイ調、サウ云フ十三年度ノ
見込ノ稅額、ソレヲ今度動カシマスモノ全
部ノ見込ノ稅額ノ表ヲ作ッテ御提出ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、ソレヲ一ツ至急ニ出シテ
戴キタイ

○高橋委員長 ソレカラ資料デ、先程渡邊
玉三郎委員カラ政府委員ニ示サレタ表ト、
ソレニ對スル政府委員ノ方カラ渡邊君ニ示
サレタ表ヲ一括シテ御提示アランコトヲ希
望致シマス——ソレデハ本日ハ電力管理法
案ガ上程サル、趣デアリマスカラ、此程度
デ散會致シタイト思ヒマス、明日ハ午前十
時ヨリ開會致シマス、委員室ガ變リマシテ、
第九委員室デ開會致シタイト思ヒマス、ソ
レデハ本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時十四分散會

昭和十三年三月八日印刷

昭和十三年三月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局